

## 「読み研」とは？

「読み」の授業研究会(読み研)は、  
子どもたちに深く豊かな国語の力を身につけさせるための  
方法を体系的に解明している国語科の研究会です。



読み研は1986年に設立された、非会員制の国語科の研究会です。  
毎年、夏の大会、冬の研究会などの研究会を開催しています。  
研究内容は、年1回発行の『国語授業の改革』(学文社)、  
『研究紀要』、年4回発行の『読み研通信』等で発信しています。

web <https://yomiken.jp> twitter @yomiken1986

## 参加までの流れ

**step1** 「こくちーず」Webサイトから参加申込の手続きを行ってください。

申込URL [https://www.kokuchpro.com/event/yomiken\\_summer36](https://www.kokuchpro.com/event/yomiken_summer36)

読み研 こくちーず で検索!  
またはQRコードから



**step2** 手続き完了後、申込完了メールが届きます。

メールに記載の方法で参加費のお支払いをお願いします。

▶ [銀行振込](#) [クレジットカード支払い](#) よりお選びいただけます。

**step3** 夏の大会直前に大会テキスト『国語授業の改革22』(学文社)   
がお申込住所に郵送されます。

**step4** 夏の大会開催の3日前までに下記をご連絡します。

**対面** 大会当日の会場受付等について再度ご連絡します。

**配信** 当日使用するZoomのURLや事前配布資料をお送りします。

**step5** 夏の大会 当日

**対面** 会場までお越しください。1時間前から受付を開始します。

**会場** 立命館大学 朱雀キャンパス(京都市)  
JR・京都市営東西線「二条駅」徒歩2分

[google](#)  
 [MAP](#)



**配信** 当日は開会1時間前からZoomに接続できます。

接続方法はお申込完了メールに記載しています。

Zoom配信では、グループの話し合いへの参加やご質問はできません。



## 大会についてのお問い合わせ

第36回 夏の大会事務局 永橋 和行 [info2010@yomiken.jp](mailto:info2010@yomiken.jp)

主催 「読み」の授業研究会

後援 立命館大学 大学院 教職研究科



「読み」の授業研究会

第36回 夏の大会



「深い学び」を生み出す国語授業の

発問 助言 学習課題

指導言の切れ味が 国語の学びの質を決める

2023年 8月19日(土) 10:30 >>> 20日(日) 13:00

**対面** 立命館大学 朱雀キャンパス(京都市) **配信** ZOOM


参加費 **¥5,000** (対面・配信 同額) / 学生 ¥3,000




※大会テキスト『国語授業の改革22』(学文社)一冊の代金(2530円)を含む。


8月19日 土


9:30- 会場受付開始 / Zoom開場

10:30-10:40 夏の大会 趣旨説明  永橋 和行 (大阪大学 非常勤)

10:40-12:00 (80分) >> **物語・小説 入門講座**    
 発問・助言・学習課題を重視した **物語・小説の授業**   
 使用教材 「モチモチの木」(斎藤隆介) 「形」(菊池寛) ほか   
 熊谷 尚 (秋田市立牛島小学校)


13:00-14:30 (90分) >> **物語・小説 ワークショップ的分科会**   
 「深い学び」を生み出す 発問・助言・学習課題   
 **A 小学校**  **B 中学校** **C 古典**   
 使用教材 使用教材 使用教材   
 「おおきなかぶ」(ロンアのみんわ) 「少年の日の思い出」(H・ヘッセ) 「立石寺」『奥の細道』(松尾芭蕉)   
 「かさこじそう」(いわさきぎょうこ) 「握手」(井上ひさし) 「うつくしきもの」『枕草子』(清少納言)   
 臺野 芳孝 (読み研運営委員) 渡邊 絵里 (久留米市立三瀬中学校) 大庭 珠枝 (由利本荘市立東由利中学校)   
  **対面** A・B・C から1つ選択   
  **配信** Aを配信



14:50-16:30 (100分) >> **記念講演**    
 国語授業で「深い学び」を生み出す！ 阿部 昇 (秋田大学 名誉教授)   
 発問・助言・学習課題のつくりかた   
 講演をめぐる対談 (20分) 対談者 永橋 和行 (大阪大学 非常勤)


16:50-18:10 (80分) >> **講座** 授業ルール・助言・グループ学習をどう構築するか   
 **A** 新しい発見を生み出す **助言の方法**  **B** **グループ学習** を生かす発問・助言の方法 **C** 確かな学習を保障する **授業ルール**   
 使用教材 使用教材 使用教材   
 「海の命」(立松和平) 「まいごのかぎ」(斉藤倫) 「ごんぎつね」(新美南吉)   
 「羅生門」(芥川龍之介) 「故郷」(魯迅)   
 岩崎 成寿 (立命館守山中学校・高等学校) 土屋 大輔 (佐久市立白田中学校) 中沢 照夫 (読み研運営委員) 小林 信次 (元・日本福祉大学)

8月20日 日

8:00- 会場受付開始 / Zoom開場

>> **A 説明文・論説文 入門講座**    
 発問・助言・学習課題を重視した **説明文・論説文の授業**   
 使用教材 「ありの行列」(大滝哲也) 「ちょっと立ち止まって」(桑原茂夫) ほか   
 鈴野 高志 (茗溪学園中学高校)

9:00-10:30 (90分)  **対面** A・B・C から1つ選択   
  **配信** Aを配信   
 >> **説明文・論説文 ワークショップ的分科会**   
 「深い学び」を生み出す 発問・助言・学習課題   
 **B 小学校** **C 中学校**   
 使用教材 使用教材   
 「おにごっこ」(もりしたはるみ) 「『不便』の価値を見つめ直す」(川上浩司)   
 「『鳥獣戯画』を読む」(高畑勲) 「作られた『物語』を超えて」(山極寿一)   
 加藤 辰雄 (読み研運営委員) 平野 博通 (名古屋市立鎌倉台中学校) 熊添 由紀子 (八女市立見崎中学校)

10:50-12:50 (120分) >> **物語・小説 全体模擬授業**    
 発問・助言・学習課題を生かし「深い学び」を実現する **「お手紙」**(A=ローベル)の授業   
 授業者 町田 雅弘 (茗溪学園中学高校)   
 指定討論者 小林 信次 (元・日本福祉大学)   
 司会 阿部 昇 (秋田大学 名誉教授)

12:55-13:00 研究のまとめ  阿部 昇

**国語授業における「発問」「助言」「学習課題」を解明します！**   
 「主体的・対話的で深い学び」を実現し、確かな言葉の力を育てていくためには、学習課題のわかりやすさ、発問や助言の切れ味がぜひ必要です。しかし、それら指導言について一般的に語られることはあっても、国語の授業に即して具体的に検討されることは意外とありません。今年の夏の大会では、どのような「学習課題」が豊かな対話を生み出すのか、どのような「発問」が子どもたちの深い思考を引き出すか、どのような「助言」がすべての子どもが主体的に参加する授業を生み出すかを丁寧に解明します。   
 「読み」の授業研究会代表 **阿部 昇**   
 秋田大学 名誉教授・東京未来大学 特任教授 